



定員 **400** 名
当日先着順

事前申込
不要

**入場
無料**

第26回臨床内分泌代謝 Update

市民公開講座

女性とスポーツ

～親も指導者も知っておいてほしいこと～

プログラム

司会者

吉村 泰典 氏

内閣官房参与/慶應義塾大学名誉教授

開会挨拶

中尾 一和

認定NPO法人 日本ホルモンステーション 理事長

講演

笑顔のアスリート学

萩原 智子 氏

シドニー五輪競泳日本代表



コメンテーター

高松 潔 氏

東京歯科大学市川総合病院 産婦人科 教授

総合討論

2016.11/19 (土)

15:00-17:00

大宮ソニックシティ
ソニックシティホール 小ホール



問い合わせ先

第26回臨床内分泌代謝 Update 運営事務局
株式会社 コングレ内
〒102-8481 東京都千代田区麹町5-1 弘済会館ビル6F
TEL: 03-5216-5318(平日10:00~17:00) FAX: 03-5216-5552
E-mail: jes-update26@congre.co.jp

<http://www.congre.co.jp/jesupdate26/>



第26回臨床内分泌代謝 Update 市民公開講座

女性とスポーツ

～親も指導者も知っておいてほしいこと～

2016.11/19(土) 15:00-17:00 大宮ソニックシティ ソニックシティホール 小ホール

本年のリオ・オリンピック・パラリンピックにおいての日本選手の活躍、特に女性アスリートの勝負強さが目立ち、2020年の東京大会での更なる進歩が期待されます。一方、日本産婦人科学会では、過度の運動がホルモンの分泌異常をもたらし、月経が止まり、骨折しやすくなるなどの女性特有のスポーツに関連した問題を引き起こすことを指摘し、将来の女性アスリートを適切に育成していくための情報提供に、検討が始まっています。運動することは本来健康管理に有益ですが、過剰の運動は有害になることがあることや、内膜症のように外見からは理解できない女性に特有の問題点を理解いただき、女性アスリートに更なる熱いエールを送っていただける機会にしたいと思いました。

第26回臨床内分泌代謝Update

会長 峯岸 敬

群馬大学大学院医学系研究科器官代謝制御学講座産科婦人科学 教授

講演

萩原 智子 日本水泳連盟 理事/シドニー五輪競泳日本代表

これまでの水泳人生をもとに「克己心=己にうち克つ」、「ピンチはチャンスに変えられる」などについてお話しします。

海でおぼれたことがきっかけで始めた水泳。恩師からの教え、家族の支え、ライバルとの関係、そしてオリンピックの素晴らしさなど、皆様の身近な話題に置き換えて話をします。

一見、華やかな世界にみえるスポーツの世界。彼女の選手生活は、順風満帆ではありませんでした。2004年に引退、5年の歳月を経て2009年に現役復活、輝かしい復活劇にも見えましたが、彼女を不幸が襲います。

子宮内膜症・卵巣嚢腫と診断され、手術。術後、わずか10か月足らずで、2度目のオリンピックを目指し…。

トビウオJAPANの強さの秘密は、どこにあるのか。組織を形成していくうえで大切なこととは。日本水泳連盟理事も務める萩原の笑いあり涙ありの講演をお楽しみ下さい。

略歴

2000年シドニー五輪代表。「ハギトモ」の愛称で親しまれている。2013年、日本水泳連盟理事に就任。現在はテレビ出演や水泳教室、講演活動など多岐に渡る活動を行っている。また、自ら現場に行き取材を行い、ライターとしても活躍中である。

コメンテーター

高松 潔 東京歯科大学市川総合病院 産婦人科 教授

略歴

1986年 慶應義塾大学医学部 卒業
1986年 慶應義塾大学医学部産婦人科学教室 入局
1992年 ドイツ国ペーリングベルケ社リサーチラボラトリー 留学
1995年 慶應義塾大学医学部産婦人科学教室 診療医長
2000年 東京女子医科大学産婦人科学教室 講師
2002年 国立成育医療センター第二専門診療部婦人科 医長
2004年 東京歯科大学市川総合病院産婦人科 講師
2007年 東京歯科大学市川総合病院産婦人科 教授
2008年 慶應義塾大学医学部客員教授(産婦人科学) 兼任
現在に至る
2015年6月より日本産科婦人科学会女性ヘルスケア委員会 委員長